

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

- ◆核軍縮・不拡散議員連盟、世界宗教者平和会議、平和首長会議による共同声明を国連に提出
- ◆各地で「国際平和デー」(9月21日)記念行事が開催されました
- ◆「過去と今の対話」記録ドキュメンタリー映像をインターネットで公開中
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース（中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事）
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆支援者・協力団体の活動紹介
- ◆平和首長会議情報システム稼働のご案内
- ◆平和首長会議メンバーシップ納付金に御協力をお願いします
- ◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内
- ◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
- ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
- ◆9月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数：161カ国・地域 6,857自治体

~~*~*~*~*~*~*

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

ホームページ：<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>「いいね！」をお待ちしています。

~~*~*~*~*~*~*

=====

◆核軍縮・不拡散議員連盟、世界宗教者平和会議、平和首長会議による共同声明を国連に提出

=====

平和首長会議は、核軍縮・不拡散議員連盟（Parliamentarians for Nuclear Non-proliferation and Disarmament, PNND）、世界宗教者平和会議（Religions for Peace）とともに、8月6日に「核兵器のない世界：人類共通の利益」と題した核兵器廃絶に関する共同声明を発表しました。9月29日現在、180人以上の国会議員・宗教者・首長がこの声明への賛同を表明しています。

9月28日、第70回国連総会開催中のニューヨークにおいて、三団体の代表者がこの声明をモーエンズ・リュッケトフト国連総会議長に提出しました。

また、これに先立つ9月22日には、「核兵器の全面的廃絶のための国際デー」（9月26日）記念イベントにおいて、国際連合ジュネーブ事務局にこの声明を提出しました。

▼共同声明の国連への提出について（英語）（「UNFOLD ZERO」ウェブサイト）：

<http://www.unfoldzero.org/religious-leaders-and-legislators-present-nuclear-abolition-call-to-the-united-nations/>

▼共同声明に関するプレスリリース（英語）（PNNDウェブサイト）：

<http://www.pnnd.org/article/nuclear-weapon-free-world-our-common-good-legislators-and-religious-leaders-join-forces>

=====

◆各地で「国際平和デー」(9月21日)記念行事が開催されました

=====

国連では、毎年 9 月 21 日を「国際平和デー」と定め、世界中の停戦と非暴力の日としてこの日一日敵対行為をやめるよう呼び掛けています。平和首長会議もこの趣旨に賛同し、その行動計画において全ての加盟都市に記念行事開催を呼び掛けていくことを盛り込んでいます。今年の国際平和デーに合わせ、世界各地の自治体で記念行事が実施されました。

▼「国際平和デー」記念行事の開催について（平和首長会議ウェブサイト）
http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2015/Sep21_peaceday/index.html

これまで平和首長会議事務局に寄せられた国際平和デー記念行事及び被爆 70 周年行事に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

▼被爆 70 周年記念事業実施都市一覧（10 月 13 日現在）（平和首長会議ウェブサイト）
http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/projects/70th_anniversary/List_of_commemorative_events_J.pdf

貴自治体での事業について加盟都市の活動コーナーでの紹介を希望される場合は、事務局までお知らせください。

▼E メール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====
◆「過去と今の対話」記録ドキュメンタリー映像をインターネットで公開中
=====

被爆 70 周年の今年、平和首長会議はピースボートと連携し、世界各地で被爆体験を次世代に継承していく「過去と今の対話」プロジェクトを実施しました。これは、ピースボートが主催する「ヒバクシャ地球一周証言の航海」（通称おりづるプロジェクト）の寄港地において、被爆当時子どもだった被爆者が、当時の自分たちと同じ年頃の子どもたち、そしてその親たちと対面し、対話するプロジェクトです。4 月～7 月に実施され、8 名の被爆者が、世界 19 カ国 25 都市で被爆証言を行いました。

この航海の様態を記録したドキュメンタリー映像が現在インターネットで公開されています。以下のリンクから視聴できるほか、ダウンロードして上映会等で活用していただくことも可能です。

▼記録ドキュメンタリー映像 「I Was Her Age / 過去と今の対話」：
<https://vimeo.com/137809836>

▼記録ドキュメンタリー映像 「I Was Her Age / 過去と今の対話」について（ピースボートウェブサイト）：
<http://peaceboat.org/9113.html>

=====
◆ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第 12 回）
[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]
=====

爽やかなアフガニスタンからの風が 9 月の広島に吹きました。研修のため被爆地広島に招かれたアフガンのサッカー女子代表チームです。1 週間ほどの滞在中、リーダーシップや原爆被害などについて学ぶ座学に加え、高校生との文化交流や、地元の女子チームとの親善試合を行い、市民の注目を集めました。

紛争や差別などの逆境に立ち向かっているアフガンの女性たち。市民の努力で焼け野原からの復興を遂げた広島を訪れ、勇気づけられたようです。被爆地の持つ力や役割をあらためて示してくれました。より多くの人に来てもらえるよう、市民も含めオール広島の努力が求められているのではないのでしょうか。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○原爆資料館 8 月入館 最多 22 万人 被爆 70 年 外国人は 2.3 倍
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=51217>

○日中韓の仏教者 平和祈る 広島で大会 300 人参加
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=51279>

○ゴールは国造り サッカーアフガン女子 広島研修 社会変えるリーダーに
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=51795>

○女子サッカー 国民の光に アフガンの連盟 メヘリ委員長に聞く
<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=51684>
(ヒロシマ平和メディアセンター提供)

=====

◆加盟都市の活動紹介

=====

*二宮町 (神奈川県)

8月5日に神奈川県二宮町で実施された「ガラスのうさぎ像 平和と友情のつどい」についての報告が届きました。

▼行事の詳細 (平和首長会議ウェブサイト)

http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/memberscity/2015/Ninomiya/glass_rabbit.html

*姫路市 (兵庫県)

秋季企画展「駅前開発からみた戦前・戦中・戦後の姫路」を開催

姫路市では、10月3日(土)～12月20日(日)まで、秋季企画展「駅前開発からみた戦前・戦中・戦後の姫路」を開催しています。期間中のイベントとして、11月3日(火)文化の日には、姫路空襲体験談を聞く会が予定されています。

▼展示の概要 (姫路市ウェブサイト)

<http://www.city.himeji.lg.jp/s50/heiwasiryoy/8293/35145.html>

*ベルギーの138都市 (ヘント市等)

国際平和デーに平和の旗を掲揚

9月21日の国際平和デーを記念し、ヘント市を始めとするベルギーの138都市が平和の旗を掲揚しました。

▼イベント報告 (英語、平和首長会議ウェブサイト)

http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/memberscity/2015/Ghent_Belgium/IDP.html

▼加盟都市の活動 (平和首長会議ウェブサイト) :

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/memberscity/index.html>

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。

貴自治体における平和に関する様々な事業の情報をぜひお知らせください。

貴自治体のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Eメール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====

◆支援者・協力団体の活動紹介

=====

*「バイク・アウェイ・ザ・ニュークリア・ボムズ」の短編映画をインターネットで公開中

「バイク・アウェイ・ザ・ニュークリア・ボムズ」は、2015年5月のNPT再検討会議を前に、核の脅威への関心を喚起するとともに、各国政府に対し核廃絶への合意を求めることを目的として始められた自転車ツアーで、サイクリングを通じて核兵器廃絶を訴えているノルウェーの平和団体「バイクフォー

ピース」、平和首長会議及び核実験反対の署名キャンペーン「ATOM プロジェクト」の共同プロジェクトです。平和首長会議副会長であるノルウェーのフロン市長を含む参加者一行は、今年4月、経由地で市長訪問や講演を行いながら、ワシントンDC～ニューヨーク間を自転車で走破しました。

このプロジェクトについての短編映画が製作され、インターネットで公開されています。この短編映画は、ノーベル平和賞受賞 NGO「社会的責任を果たすための医師団」(Physicians for Social Responsibility) が毎年実施する核廃絶を訴える短編映画コンテストにおいて2015年プロフェッショナル部門の第1位を獲得しています。

▼短編映画「バイク・アウェイ・ザ・ニュークリア・ボムズ」(英語)

<https://www.youtube.com/watch?v=giDfm6AJaeY>

=====

◆平和首長会議情報システム稼働のご案内

=====

平和首長会議では、加盟自治体間の情報共有促進を目的として、「平和首長会議情報システム」を構築しました。このシステムを利用することで、加盟自治体の情報検索、各自自治体の情報更新等が可能となります。貴自治体の情報を最新のものに更新していただくとともに、平和首長会議の活動のために本システムを積極的に利用していただきますようお願い申し上げます。なお、システムの利用方法等については別途メールでお知らせしています。まだシステムを利用したことがない自治体の担当者の方はログインしてみてください。

▼システムの URL: <https://www.mfpinfosys.org/>

平和首長会議情報システムに関するご不明点等は、次のアドレスにお問い合わせください。

▼Eメール: mfpssystem@pcf.city.hiroshima.jp

=====

◆平和首長会議メンバーシップ納付金に御協力をお願いします

=====

平和首長会議では、平成25年8月の第8回総会において、今後の活動を活発化し、より連帯意識の強化を図ることを目的に、メンバーシップ納付金制度の導入を決定し、今年度から1都市当たり年額2,000円の負担をお願いすることとなりました。

加盟自治体の皆様へは、本年5月12日付けのEメールで当該制度開始の案内を送付し、7月1日付けで請求書等を郵送しております。請求書の納付期限は9月30日(水)となっておりますが、まだ、納付していただけていない自治体の皆様におかれましては、11月30日(月)までに納付していただきますようお願い申し上げます。

なお、仮に納付金を負担しない都市があったとしても、その都市に離脱を求めることはしない旨、第8回平和首長会議総会で決定していますので、そうした場合でも、引き続き平和首長会議に加盟していただき、住民の方々の平和な生活を守るため、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け共に行動していただければ幸いです。

納付金の納付が困難な場合は、その旨、事務局まで御連絡くださいますようお願いいたします。

皆様の御協力をお願いいたします。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

=====

◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内

=====

平和首長会議では、平成25年8月の第8回総会において策定された行動計画の具体的取組である被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業を昨年度から開始しました。

9月1日から30日までに、国内では、川口市(埼玉県)にアオギリを、座間市(神奈川県)及び燕市(新潟県)にクスノキを、安来市(島根県)にアオギリとクスノキを配付し、松本市(長野県)に「平和の灯」の分火を行いました。

被爆樹木の苗木又は「平和の灯」の受け入れを希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※被爆樹木の苗木の配付については、配付本数に限りがあるため、万一不足することになった場合は翌年度以降の送付となりますので、あらかじめご了承ください。

※両事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Eメール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

=====
◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
=====

平和首長会議では、第8回総会において策定された行動計画に沿った取組として、平和首長会議原爆ポスター展に国内外の加盟都市を挙げて取り組んでいます。

引き続き、ポスター展の開催にご協力ください。

※ポスター概要：標準サイズA2版、18枚

▼ポスター展の詳細及びポスターのダウンロード

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

=====
◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
=====

2020年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

皆様のご協力により、2015年10月1日現在、2,190,585筆の署名が集まっています。

今後とも、全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。

(署名はインターネットからも可能です。)

▼署名用紙 (PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly Updating/11_petitionform_jp.pdf

▼オンライン署名

<https://www.ssl-z.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1333414321137/index.html>

=====
◆9月の平和首長会議会長訪問
=====

松井一實広島市長・平和首長会議会長は、9月に次のような海外からの来訪者の表敬訪問を受けました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

*9月8日(火) モーエンス・リュッケトフト 第70回国連総会議長

▼関連情報

広島市/日々の動静—2015年9月

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1441093266503/index.html>

=====
◆平和首長会議加盟都市数：161カ国・地域 6,857自治体
=====

皆様のご理解とご協力により、今月37自治体が新たに加盟し、平和首長会議の加盟都市数は10月1日現在で6,857自治体(161カ国・地域)となりました。

日本国内では、石川県輪島市等5自治体(1市2町2村)が加盟し、国内加盟都市数は1,592都市(加盟率91.4%)となりました。

海外については、テヘラン平和博物館の呼び掛けにより、イランの 18 都市が加盟し、同国の加盟都市数が 753 都市となりました。また、核戦争防止国際医師会議（IPPNW）のオランダ支部であるオランダ平和研究医師会議の呼び掛けにより、7 都市が加盟しました。これにより、同国の加盟都市数は 136 都市となりました。この他、5 か国から計 7 都市が新たに加盟しました。

引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様のご支援をよろしく申し上げます。

▼10月1日付新規加盟都市一覧

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2015/newmembers1510_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

本メールニュースに関するご意見、お問合せ、連絡先変更等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財)広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp